

この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30分×8回です。

この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイルの見本になります。

※添削問題は、「一貫標準」「一貫発展」の問題を掲載しています。

小説：人物像・心情説明

※現代文の構成です

- 1 要点学習
 - 2 応用学習 問題へのアプローチ
 - 3 応用学習 読解演習
 - 4 応用学習 知識トレーニング
 - 5 応用学習 速読トレーニング
 - 6 応用学習 記述トレーニング
 - 7 添削問題 添削問題1
 - 8 添削問題 添削問題2
- 巻末 添削指導例

要点

小説…人物像・心情説明 要点

今回の単元を学習すると……

小説の登場人物の人物像をとらえる方法について学習することで、**登場人物がどのような性格なのかをとらえ、描写や行動をもとに、登場人物の心情を的確に読み取ることができるようになります。**

【1】人物像を読み取る

同じ出来事に対して抱く心情でも、性格や置かれた境遇が違えば、受け取り方は異なります。登場人物の心情や考え方、行動の意味をとらえるためには、人物像の把握は不可欠です。

性格・人物像の読み取り方

- 1 性格を直接表現した部分から読み取る
- 2 登場人物の発言や行動から読み取る
- 3 ストーリー全体から読み取る

●性格を直接表現した部分から読み取る

小説では、登場人物の性格をストレートに表す言葉は、実はあまり使われません。だからこそ、あえて使われている性格を表す言葉は、貴重

な手がかりとなりますから、見逃さずにチェックしましょう。

性格を表す言葉には、次のようなものがあります。

温和・優柔不断・血気盛ん・感情的・お人よし・勝ち気・気が弱い・物静か・おおらか・行動的・控えめ・恥ずかしがり屋・努力家・計算高い・高慢・冷静・実直・軽率 など

このような言葉のほか、「いざというとき頼りになる」「人前でも動じない」など、**その人物の行動をもとにした短い表現**も使われます。

●登場人物の発言や行動から読み取る

【行動から読み取る】

【例文で確認！】

上京してから私はときどき実家に贈り物をした。荷物を送って数日もすると父から手紙が届いた。手紙はいつも万年筆の手書きで、丁寧な文面でお礼の言葉が書かれてあった。

Z会オリジナルの文章

「父」の性格について考えましょう。贈り物をもらうたび、手書きで丁寧なお礼の手紙を送るということから、「**律儀**（＝誠実で道理を重んじるさま）・**実直な性格**」と読み取ることができますね。

【発言や心の中の言葉から読み取る】

次の例文の、「妹」の性格について考えましょう。

例文で確認！

「試合に出られなかったこと、悔しかったんじゃない？」私は妹に気になっていたことを聞いてみた。

「うん。でも、他の人のプレーをじっくり見られて勉強になった。

それに、試合に出なくてもやることはいっぱいあるんだよ。けがをしてみないと気づけないことってあるんだね」

Z会オリジナルの文章

「妹」は、けがのため試合には出場できなかったものの、そのような状況の中で自分のできることに取り組んでいます。このような点から、「**前向きで物事を積極的にとらえる性格**」と読み取ることができますね。

●ストーリー全体から読み取る

実際の小説の出題では、ある程度の長さのある文章の中で人物像を問われます。その場合はまず、年齢や置かれている立場といった、登場人物の設定についておさえます。そして、ストーリーを追いながらその中で起こった出来事についてとらえ、出来事に対して登場人物がどのような反応したかを読み取ります。

- ・年齢や置かれている立場など、登場人物の設定をとらえる。
- ・ストーリーの中で起こった出来事をとらえる。
- ・出来事に対して登場人物がどのように反応したかを読み取る。

【2】心情説明問題を解く

小説で最もよく出題されるのが、心情を説明する問題です。こうした問題では、心情を読み取ることができる表現を手がかりにして考えます。

心情説明問題の解き方

- 1 心情を読み取ることができる表現から、心情を読み取る
- 2 出題形式に応じて、適切な手順で解答する

●心情を読み取ることができる表現

登場人物の気持ちには、いろいろな表現方法があります。

- (1) 直接的な表現：直接、感情を表す言葉を使った表現です。

(例) うれしい・喜ぶ・悲しい・寂しい・緊張する など

- (2) 登場人物の行動や様子の描写：登場人物の行動、しぐさや表情を描いたところからも、気持ちを読み取ることができます。また、**気持ち**を表す慣用表現も多くあります。

例文で確認！

「やった！」と声を上げて飛び跳ねた。 ↓喜び
 急に声をかけられて飛び跳ねた。 ↓驚き
 (慣用表現) ほめられて頭をかいた。 ↓照れ
 (慣用表現) 話を聞いて首をかしげた。 ↓疑問・不審
 (比喩表現) 雨に濡れた捨て犬のような目をしていた。 ↓心細さ

(3) 登場人物の言葉：登場人物の発言内容や心の中の言葉、また、口調の描写からも気持ちを読み取ることができます。

例文で確認！

「わかったよ」と怒ったようにつぶやいた。 ↓不機嫌・反発

(4) 情景描写：登場人物が見ている情景の描写に、その人物の気持ちが反映されている場合があります。

例文で確認！

空を見上げると、抜けるような青空が広がっていた。 ↓プラスの感情
 窓を開けると、冷たい雨が降っていた。 ↓マイナスの感情

●出題形式に応じて解答する

テストなどで出題される心情説明問題は、大きく分けて、選択肢問題と記述式説明問題(記述問題)の二種類があります。それぞれについて、解法を確認しておきましょう。

【選択肢問題】

選択肢の心情説明問題の解法

- (1) 心情説明の選択肢は、多くの場合、a 気持ちを表す言葉と、b 気持ちの説明部分とで成り立っているので、a bともに適切なものを選ぶ。
- (2) 「唇をかんだ」↓「悔しく思う」など、本文中の表現が言い換えられていることがあるので、選択肢中の表現が本文と照らして適切かどうか検討する。

【記述式問題】

記述式の心情説明問題の解法

- (1) 問われている人物と場面を確認し、本文中から心情を読み取ることができる表現を探す。見つけた表現をもとに、気持ちを一言で表す言葉を考える。
- (2) その気持ちになった理由やきっかけを本文中からおさえる。
- (3) (1)と(2)をあわせて、解答をまとめる。

(例) 「うれしい」理由 気持ちを一言で表す言葉

あこがれの人に会えて うれしい気持ち。

コラム 解答力アップ!

Q どうしてこの問題が心情説明の問題になりやすいの??

A 登場人物の気持ちが変化している箇所です。

心情説明の問題では、(それまで何とも思っていなかったことを意識するようになった) (それまで悪く思っていたことを良く思うようになった) などの、**気持ちが変化したところ**についてよく問われます。問われている箇所の前後の出来事をおさえ、心情を読み取ることができると表現に注目して、設問になっている箇所ではどういう心情でいるのかをとらえましょう。

ポイント

登場人物の心情を読み取る手順

手順1 心情を読み取ることができる表現を見つけ、その心情を一言で表す言葉を考える。

手順2 その気持ちになった理由やきっかけを読み取る。

手順3 手順1と手順2をあわせて解答をまとめる。

※選択肢問題では、手順1・2で読み取ったことと照らして、正しいものを選ぶ。

例題

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問一 杉野久実子の人物像が読み取れる部分に――を引きなさい。

問二 杉野久実子の人物像として、最も適切なものを次の中から選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 地元を思う気持ちが強く、地域貢献のためなら自分の家族を犠牲にしてもかまわないと考える利他的な人物。
- イ 好奇心があり新しい技術を積極的に取り入れる気概があるが、反面、一つの仕事を続ける根気がない人物。
- ウ わが子を思う気持ちが強く、自分がやるべき仕事と思ったら困難な中でも精神的に行動する前向きな人物。
- エ 人のために働くことが好きで、特別な知識や技術はないが、客の心をつかむことにたけた機転のきく人物。

次のページで「解答解説」を確認しましょう。

解説

最初に、杉野久実子の置かれた状況を確認しましょう。

・食物アレルギーをもつ小学生・太郎の母親

・**地域特産館**で働いている

「今は好調だが、業績が落ちればつぶれる危険性がある

久実子はもとは役場の職員で、地域特産館への転職の際は、知人である詩子を驚かせています。それは、久実子の決断が早かった(「あっさり」)ことに加えて、地域特産館がつぶれてしまう危険性ははらんだ職場だということがあります。第二段落までを読んだ段階で、久実子の行動が思い切ったものであることをおさえておきましょう。

問一 まず、**転職のいきさつ**と、それについての**会話文**から、久実子の人物像が読み取れる部分をチェックします。

杉野久実子は町に地域特産館が出来ると、役場からあっさり転職し、詩子を驚かせた。

……この事業は、ブームが去ったらたちまち切り捨てられる危険性もはらんでいる。……役場にいた杉野久実子は、そのリスクをだれよりも知っているはずだ。その上で彼女は、詩子にこう言う。

「危ういから余計に、そうはさせないぞって気になるのかもね。……土地の食材を通して自分の子を守りたいと思った時、これは私にしかできない仕事だぞって思ったの。太郎のためにも、ここをつぶしたくないの」

業績が落ちればつぶれてしまうと承知の上で、迷わず転職を決めた久実子の心の内には、(わが子を守りたい) (誰よりも自分が適任だ) という気持ちがあったことが読み取れますね。

続いて、久実子の仕事ぶり(Ⅱ**行動**)を描写した部分から、彼女の人物像が読み取れる部分をチェックしましょう。

早朝……パソコンに入力し……ラベルをつける。……植木市など企画にも積極的に関わっていた。地域特産館を存続させるためなら何だってやるといった感じで、旬の野菜情報や特産物の宅配システムをインターネット発信し始めたのも彼女だった。

「地域特産館を存続させるためなら何だってやるといった感じ」なので、精神的(Ⅱ疲れを見せず、積極的に取り組むさま)に仕事に取り組む様子が読み取れますね。

問二 問一で線を引いた部分を入れて、選択肢を検討しましょう。

選択肢をチェック!

ア 地元を思う気持ちが強く、地域貢献のためなら、**自分の家族を犠牲にしてもかまわないと考える利他的な人物。**

イ **好奇心があり新しい技術を積極的に取り入れる気概がある**が、反面、**一つの仕事を続ける根気がない人物。**

ウ **わが子を思う気持ちが強く、自分がやるべき仕事とと思ったら困難な中でも精神的に行動する前向きな人物。**

エ 人のために働くことが好きで、**特別な知識や技術はないが、客の心をつかむことにたけた機転のきく人物。**

ア転職の理由に「自分の子を守りたい」という気持ちがあったことを思い出しましょう。久実子は「太郎のために」地域特産館を維持したいと考えているのですから、「自分の家族を犠牲にしても」とは思わないはずです。イ転職をしたからといって、必ずしも「一つの仕事を続ける根気がない人物」とはいえませんが、前半の「好奇心があり……」といった部分も文中に明確な根拠がありません。ウ久実子の発言から「わが子を思う気持ちが強」といえますね。また、発言と仕事ぶりの描写から「自分がやるべき仕事と思ったら……精力的に行動する」「前向きな」も適切です。エ「特別な知識や技術はない」「客の心をつかむことにたけた」、どちらも、そのようなことが読み取れる描写は文中にありません。

解答

問一 (「解説」に示してあります。)
問二
ウ

次のページで「解答解説」を確認しましょう。

解説

まず、手順1に従って、心情を読み取ることが出来る表現を見つけ、その心情を一言で表す言葉を考えましょう。

傍線部を含む場面からおばあさんについて描写した部分を探してみると、傍線部の直後に次のような箇所があります。

問題文の「」を見よう

おばあさんは、きもをつぶした声を出す。

「まあ、どうだろう、これはまるで海賊の食べるようなごはんだ！」
フタをあけたおばあさんは貝みたいに口をあけた。

「きも（肝）をつぶす」は（非常に驚く）様子を表す慣用句です。会話文の末尾の「！」や、「貝みたいに口をあけた」という表現からも、おばあさんが驚いていることが読み取れます。

続いて、手順2の、「その気持ちになつた理由やきっかけ」を考えます。「フタをあけた」とありますから、「わたし」が作った「あさり貝のピラフ」の鍋のふたを開けて中を見たことによつて、おばあさんはそれほど驚いたのですね。

それでは、おばあさんはなぜこんなに驚いたのでしょうか。これについては、問題文の最初の方に、「おばあさんにはたぶん聞いたこともない料理だから」とあるのが手がかりになります。「聞いたこともない」というからには、当然、実際に見たことなどない料理なのだとわかりますね。それまで見たこともない、つまり、このとき初めて見た料理が鍋の中に入っていたから、「きもをつぶし」「貝みたいに口をあけ」て驚いたわけです。

手順3に従うと、このときのおばあさんの気持ちは、

（驚いた理由）

初めて見る料理に

（気持ちを一言で表す言葉）
驚く気持ち。

とまとめることができます。

「あさり貝のピラフ」という言葉をそのまま使くと、十五字をオーバーしますから、「料理」のようにコンパクトにまとめましょう。

解答

初めて見る料理に驚く気持ち。（14字）

M · E · M · O

「要点」で学習した内容をふまえ、実際の問題にどのようにアプローチしていくかを見ていきましょう。

アプローチ

↳ 選択肢問題

人物の心情に関する「選択肢問題」を解く際は、次の点に注意しましょう。

ポイント 心情説明に関する「選択肢問題」

- ・ 選択肢に書かれている心情の根拠（その心情が読み取れる表現・言動）が問題文中にあるかを確認する。
- ・ 選択肢に書かれている心情の説明（理由やきっかけ、場面設定）が問題文の内容と矛盾していないかを確認する。

この二点について、次の文章を読みながら考えてみましょう。

今回の文章

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

（著作権の都合により、問題文を掲載しておりません）

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

傍線(1)「少しだけ。」とありますが、ひさしはなぜこのように答えたのでしょうか。

ア 自分が歯の治療を放り出したせいで父を困らせる状況を作り出してしまい、父を不機嫌にするのが怖かったから。

イ 列車の中という何もできない状況で歯の痛みを訴え、どうすべきか思い悩む父をさらに困らせたくないと考えたから。

ウ 歯を痛がる自分を楽にしてあげられないかと思案する父の優しさが嬉しく、痛みが少し和らいだように感じたから。

まずは、次の作業を通じてひさしの心情を「見える化」しましょう。

手順1 心情を読み取ることができると表現を見つけ、その心情を一言で表す言葉を考える。

🔍 見える化しよう

父親は、困った、という表情になったが、困った、とは言わなかった。その表情を見た途端、ひさしは、

「何か挟まっているみたいだけど、大丈夫、取れそうだから。」
と言ってしまった。

傍線(1)のすぐ前で似たようなやりとりがある。ひさしは父親の「困った、という表情」を見た途端に、「大丈夫」と言っていることから、この場面でのひさしの心情は〈父親を困らせたくない〉というものだとわかる。

手順2 その気持ちになった理由やきっかけを読み取る。

🔍 見える化しよう

何とか我慢しよう、とひさしは思った。父親に訴えたところで、父親も困るだろう。楊枝もなければ痛み止めの薬があるわけでもない。

ひさしは傍線(1)より前でも歯の痛みを我慢し、父に伝えるのをためらっている。

↓ひさしが自分の痛みを〈父親にもどうしようもできないことである〉と考えている点をおさえる。どうしようもないことだからこそ、わざわざ伝えて〈困らせたくない〉と考えたのである。

手順3 読み取った心情と心情の説明を選択肢と照らし合わせる。

「列車の中という何もできない状況で」 || 心情の説明
「父をさらに困らせたくないと考えた」 || 心情

心情、心情の説明がともに問題文の描写に合致する。
↓イが正解。

選択肢全体の正誤を整理すると、次のようになります。

選択肢をチェック!

- ア 自分が歯の治療を放り出したせいで父を困らせる状況を作り出してしまい、[×]父を不機嫌にするのが怖かったから。
- イ 列車の中という何もできない状況で歯の痛みを訴え、どうすべきか思い悩む父をさらに困らせたくないと考えたから。
- ウ 歯を痛がる自分を楽にしてあげられないかと思案する[×]父の優しさが嬉しく、[×]痛みが少し和らいだように感じたから。

アは、「父を不機嫌にするのが怖かった」という点がひさしの心情とずれるので誤り。ひさしは父親の「困った、という表情」を見て、父親に心配をかけたたくない、という思いから「少しでも答えており、不機嫌にするのが怖い」というのは合わない。ウは「父の優しさ」を「嬉しく」感じたという描写がないため不適切。また、直前に「息を詰めたくなるような痛さについて汗ばんでいた」とある点からも「痛みが少し和らいだ」とするのは誤り。

アプローチ

↳ 記述問題

心情説明に関する「記述問題」を解く際は、次の点に注意しましょう。

ポイント 心情説明に関する「記述問題」

問題文から心情が読み取れる部分を探し、そのような気持ちになつた理由やきっかけをまとめる。

この点について、同じ文章の続きを含めて読みながら考えてみましょう。

今回の文章

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

今回は、傍線(2)「あとが続かなくなった」、このときの「ひさし」の心情を記述解答としてまとめます。

手順1 心情を読み取ることが出来る表現を見つけ、その心情を一言で表す言葉を考える。

🔍 見える化しよう

- ・ひさしは、頭から冷水を浴びせられたようだった。
- ・ひさしは、

「蘭が……」
と言ったとき、あとが続かなくなった。

「頭から冷水を浴びせられたよう」とは、〈突然思いがけないことに
出会ってぞっとするほど驚くこと〉を表す。

言葉に詰まる様子から、ひさしが〈困惑している〉ことが読み取れる。
↓ひさしの心情は〈衝撃を受け、困惑している〉とまとめられる。

手順2 その気持ちになった理由やきっかけを読み取る。

🔍 見える化しよう

すると父親は、手にしていた扇子を開きかけ、いきなり縦に引き裂いた。

- ・その扇子は、亡くなった祖父譲りのもので、父親がいつも持ち歩いているのを知っていたし、扇面には、薄墨で蘭が描かれていた。
- その蘭を、いいと思わないかと言ってわざわざ父親に見せられたこともある。

ひさしが傍線(2)のような状態になったきっかけは、父親がひさしの歯痛を治めるために扇子を破いたことである。

父親にとって扇子が〈大切なもの〉であることを読み取る。

↓ひさしが〈父親が大切にしていた扇子〉を〈自分のために破かせたこと〉に衝撃を受けた点を心情の理由として説明する。

手順3 心情と心情の説明をあわせて解答をまとめる。

心情の理由

父親が大切にしていた扇子を自分のために破かせたことに

心情

衝撃を受け、困惑する気持ち。

心情と心情の理由をあわせてまとめることで、傍線部の心情が明らかになる。これを解答とする。

▼解答に必要な要素

- ① 父親が大切にしていた扇子を自分のために破かせてしまったこと
∴ 心情の理由として〈父親が大切にしていた扇子〉を〈自分のために破かせてしまった〉という点を示す。
- ② 衝撃を受け、困惑する気持ち
∴ 〈たいへんな衝撃を受け、困惑している〉という心情をおさえる。

【解答例】

父親が大切にしていた扇子を自分のために破かせてしまったことに衝撃を受け、困惑する気持ち。

次のページで「練習問題」に取り組みましょう。

練習問題

次の文章は太宰治の小説『浦島さん』の一節です。助けた亀につられて龍宮城りゆうきゆうじょうに行った浦島太郎は、やがて陸上の生活が恋しくなり、亀の背に乗って龍宮城をあとにします。これを読んで、あとの問に答えなさい。

行きはよいよい帰りはこわい。また亀の背に乗って、浦島はぼんやり龍宮から離れた。へんな憂愁が浦島の胸中に湧わいで出る。ああ、お礼を言うのを忘れた。あんないいところは、他に無いのだ。ああ、いつまでも、あそこそこにいたほうがよかった。しかし、私は陸上の人間だ。どんなに安楽な暮くしをしていても、自分の家が、自分の里が、自分の頭の片隅かどぐもにこびりついて離れぬ。美酒に酔って眠つても、夢は、故郷の夢なんだからなあ。げっそりするよ。私には、あんないいところで遊ぶ資格は無かった。

「わあ、どうも、いかん。淋まびしいわい。」と浦島はやくそくに似た大きい声で叫んだ。「なんのわけだかわからないが、どうも、いかん。おい、亀。何とか、また景気けいきのいい悪口あくぐちでも言ってくれ。お前は、さつきから何も一ことも、ものを言わんじやないか。」

亀は先刻から、ただ黙々と鱗うろこを動かしているばかり。「怒っているのかね。私が龍宮から食い逃げ同様に帰るのを、お前は、怒っているのかね。」

「ひがんじやいけねえ。陸上の人はこれだからいやさ。帰りたくなったら帰るさ。どうでも、あなたの気の向いたように、とはじめから何度なんども言ってるじやないか。」

「でも、何だかお前、元気が無いじやないか。」

15

10

5

「⁽¹⁾そう言うあなたこそ、妙にしよんぼりしているぜ。私や、どうも、お迎えはいいけれど、このお見送りってやつは苦手だ。」

「行きはよいよい、かね。」

「洒落しゃれどころじゃありません。どうも、このお見送りってやつは、気はずまねえものだ。溜息ためいきばかり出て、何を言ってもしらじらしく、いつともう、この辺でお別れしてしまいたいようなものだ。」

「やつぱり、お前も淋さびしいのかね。」浦島は、ほろりとして、「こんどは

甲羅こうらをゆすって、そうしてただ、せつせと泳ぐ。」

25

20

問一 傍線(1)とありますが、浦島が「しょんぼりしている」のはなぜですか。最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。

ア 龍宮城より他に素晴らしい場所はないことを知りながら、陸上の人間である自分は、いつかは陸上に帰らなくてはいけないことにせつなさを感じるから。

イ 自分は親切にしてくれた亀や乙姫と別れることに淋しさを感じているのに、亀が最初と変わらない態度で自分を引き留めてくれることに落胆しているから。

ウ 亀や乙姫と別れる淋しさや、龍宮城という理想的な場所の素晴らしさを感じながらも、どうしても陸上の生活から離れられない自分が悲しく思えるから。

問二 問題文では「亀」の性格はどのように表現されていますか。自分の言葉で二十字以内にまとめて説明しなさい。

解説

問一 問題文の冒頭で浦島の心情が説明されています。この部分を確認して、浦島の心情を読み取りましょう。

問題文のこを見よ！

へんな憂愁が浦島の胸中に湧いて出る。ああ、お札を言うのを忘れた。あんないいところは、他に無いのだ。ああ、いつまでも、あそこにはいたほうがよかった。しかし、私は陸上の人間だ。どんなに安楽な暮らしをしても、自分の家が、自分の里が、自分の頭の片隅にこびりついて離れぬ。美酒に酔って眠っても、夢は、故郷の夢なんだからなあ。げっそりするよ。私には、あんないいところで遊ぶ資格は無かった。

「憂愁」とは〈気分が晴れず沈む気持ち・憂い悲しむ気持ち〉といった意味ですから、浦島が「しょんぼりしている」のは、悲しい気持ちになっていくからであることが読み取れます。

また、浦島が〈悲しい気持ち〉になっている理由は、龍宮城を「あんないいところは、他に無い」と思いながらも、もともと陸上の人間である自分は〈どうしても自分の故郷から離れられない。忘れられない〉と感じているからです。そして、そんな自分自身に〈悲しさ〉を感じているのです。この浦島の気持ちは、「私には、あんないいところで遊ぶ資格は無かった」という言葉で表現されていますね。

以上から、浦島の〈どうしても陸上から離れられない自分自身への悲しみ〉をおさえたウが最も適切です。

選択肢を手エック！

ア 龍宮城より他に素晴らしい場所はないことを知りながら、陸上の人間である自分は、いつかは陸上に帰らなくてはいいことにせつなさを感じるから。

イ 自分は親切にしてくれた亀や乙姫と別れることに淋しさを感じているのに、亀が最初と変わらない態度で自分を引き留めてくれないことに落胆しているから。

ウ 亀や乙姫と別れる淋しさや、龍宮城という理想的な場所の素晴らしさを感じながらも、どうしても陸上の生活から離れられない自分が悲しく思えるから。

アの「せつなさ」は浦島の心情に合っていますが、「いつかは陸上に帰らなくてはいいけない」が問題文の内容とずれます。浦島はだれからも「帰らなくてはいいけない」とは決められていないのに、自分自身の〈どうしても陸上のが頭から離れない〉という気持ちから帰ることを決めたのです。イは、「亀」が「引き留めてくれないことに落胆している」という描写はないため、不適切です。

❗ **つまずき防止** 選択肢を印象で選ばず、慎重に検討しよう

間違いの選択肢であつても、選択肢の記述のほとんどは問題文の内容に合っている場合があります。読み取れていたはずなのに、選択肢問題で間違えてしまったときは、印象で選んでいないか確認しましょう。「心情」と「心情の説明」が問題文と矛盾していないか、慎重に検討することが大切です。

問二 小説では、登場人物の言葉や行動の描写から、彼らの性格や人物像を読み取ることが大切です。「優しい」「気が強い」など具体的に性格が描写されている部分はもちろん、言葉や行動とといったさりげない描写に注目して、人物像を読み取りましょう。

ここでは、言葉や行動に注目して、亀の性格が読み取れる表現を整理していきます。

問題文の「」を見よう！

おい、亀。何とか、また景気のいい悪口でも言ってくれ。

浦島が亀に向かってこのように言っていることから、亀は〈口が悪い〉性格であることが読み取れます。また、実際、亀の浦島への言葉を見ると、「ひがんじやいけねえ。陸上の人はこれだからいやさ」と口が悪い様子がわかります。

ただ、口が悪いからといって、〈冷たい〉性格ではないことも次の亀の言葉や様子から読み取れます。

問題文の「」を見よう！

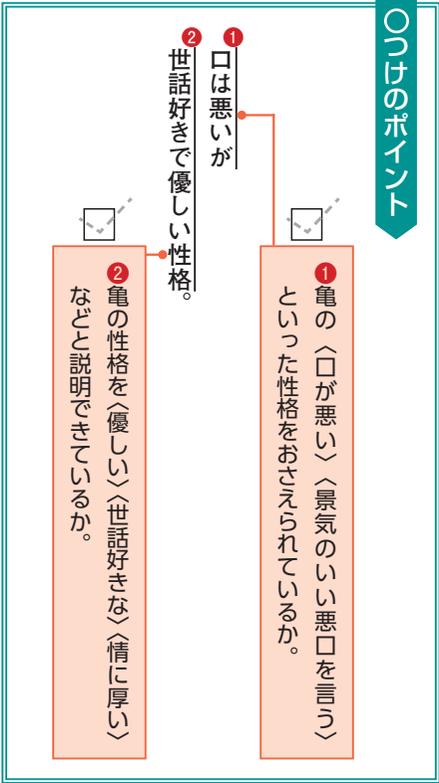
- ・「でも、何だかお前、元気が無いじゃないか。」(浦島)
- ・「どうも、このお見送りってやつは、気のはずまねえものだ。溜息ばかり出て、何を言ってもしらじらしく、いっそもう、この辺でお別れしてしまいたいようなものだ。」(亀)
- ・「こんどはぜひぶん、お前の世話にもなったね。」(浦島)

これらの言葉からは、亀が本当は、〈浦島と別れることを心からさみしく思っていること〉がわかります。また、亀は、何かと浦島の世話を焼いてくれたことが、浦島の言葉から読み取れます。以上のことから、亀は〈世話好きで優しく情に厚い性格〉であることがわか

りますね。

解答は、〈口が悪い〉けれども、本当は〈世話好きで優しい〉性格であるという、亀の複雑な性格がわかるようにまとめましょう。

○つけのポイント



解答

問一 ウ
問二 口は悪いが、世話好きで優しい性格。(17字)

今回は、記述問題にしぼったトレーニングに取り組みましょう。
記述指導に長年の実績があるZ会が、独自のプログラムで、差がつかく記述力を鍛えます。

例題

次の問題文を読んで、あとの問に答えなさい。

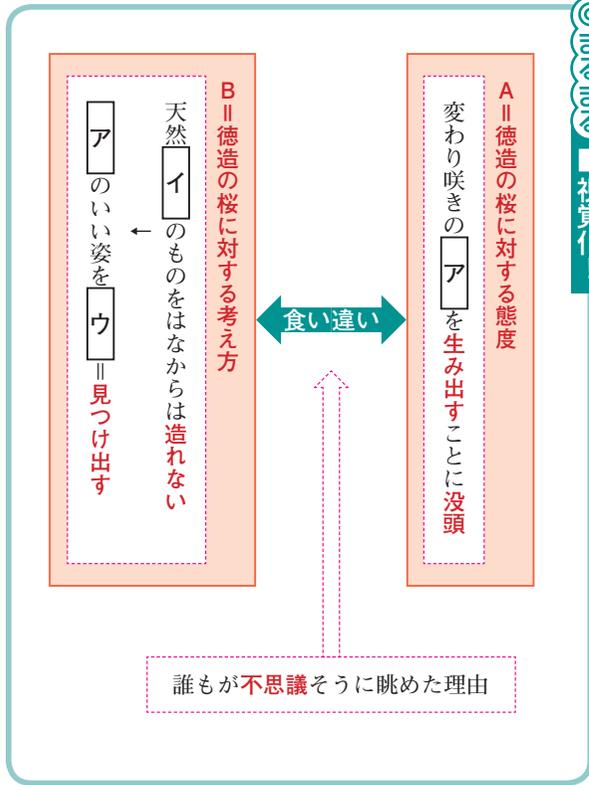
(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問題文の内容を図で整理しよう

問 次の図「まるまる視覚化！」の空欄に最適な言葉を文中から抜き出して書きなさい。

◎まるまる ■視覚化！



ア

イ

ウ

解答

ア 桜 イ 自然 ウ めっける

記述問題に挑戦

問 傍線部とありますが、なぜ誰もが徳造の顔を不思議そうに眺めたのですか。その理由を八十字以内で説明しなさい。

※ 「まるまる視覚化！」を参考にしよう

次のページでポイントを確認しましょう。

解答解説

以下の順に、記述に必要なポイントを確認していきましょう。

ポイント① Aの要素は書けているか

ポイント② Bの要素は書けているか

ポイント③ 解答の骨組みをおさえているか

ポイント④ 文末表現は適切か

ポイント① Aの要素は書けているか

「まるまる視覚化！」のA⇨徳造の桜に対する態度を説明できているか見ていきましょう。

（徳造は）変わり咲きを生み出すことに没頭していることをおさえる

例 誰も造ったことがないような変わり咲きを生み出すことに夢中になっている

例 変わり咲きの桜を造り出すことにすべてを注ぎ込んでいる

ポイント② Bの要素は書けているか

ポイント①に続き、「まるまる視覚化！」のB⇨徳造の桜に対する考え方についての説明ができているか確認しましょう。

（変わり咲きの桜は）自然が生み出すものであって、自分で見つけた（⇨めつける）ことと考えていることをおさえる

例 自分ができるのは桜を造り出すのではなく、見つけ出すこと

例 桜の出方を見て、良い姿を見つけ出すことが自分にできること

ポイント③ 解答の骨組みをおさえているか

骨組みとなるのは、「まるまる視覚化！」にあったA⇨徳造の桜に対する態度とB⇨徳造の桜に対する考え方が、かみ合っておらず、だから誰もが「不思議」に感じたのだということをおさえることです。自分の解答をチェックしましょう。

解答の骨組み⇨AなのにBである（AとBがかみ合っていないことを示す）

ポイント④ 文末表現は適切か

設問では「理由」が問われています。文末が理由を表す表現になっているかどうか、チェックしましょう。

文末表現を「〜から。」「〜ため。」「〜ので。」などとまとめる

ポイント①～④をふまえた模範解答は次のとおりです。自分の解答と見比べてみましょう。

解答例1

いろんな桜を掛け合わせて変わり咲きを生み出すことに没頭しているのに、その桜は自然が生み出したものであって、徳造はそれを見つけ出すにすぎないと考えているから。(78字)

解答例2

全力を傾けて新しい変わり咲きを造り出しているのにもかかわらず、徳造は、それを自分が造り出すものでなく、天然自然の中から見つけ出されるものだと考えているから。(78字)

発展

他の人の解答を採点してみよう！

模範解答を確認して、ポイント①～④が理解できましたか。理解度をチェックするために、次は、他の人の解答を採点してみましょう。

問 次の解答を、ポイントごとに「問題なし〇」「不足あり△」の二段階で採点して、空欄に○または△を書きなさい。

👉 目指せ満点！ あすなるさんの解答

変わり咲きをする桜を造ろうとしている徳造が、桜のような天然自然のものをはなから造ることはできないので、それは「めっける」しかないものだと考えているから。(76字)

ポイント① Aの要素は書いているか

ポイント② Bの要素は書いているか

ポイント③ 解答の骨組みをおさえているか

ポイント④ 文末表現は適切か

① () () () () () () () () () ()

解答解説

ポイント① A（徳造の桜に対する態度）の要素は書けているか

↓△不足あり

「変わり咲きをする桜を造ろうとしている」という点に触れています
が、その取り組み方の説明がもの足りません。「こだわり」「没頭する」
「すべてを注ぎ込む」など、文中にある表現から、徳造の桜への取り
組み方が並のものではないということを示しましょう。

ポイント② B（徳造の桜に対する考え方）の要素は書けているか

↓○問題なし

「桜のような天然自然のものはなから造ることはできない」ので、
「それは『めっける』しかない」と考えていることをまとめてあり、
徳造の桜への考え方の要素は満たしています。なお、文中にある「めっ
ける」という表現をそのまま用いても可とします。

ポイント③ 解答の骨組みをおさえているか

↓△不足あり

誰もが徳造を不思議そうに眺めた理由の説明として、「AなのにBで
ある」（AとBが、かみ合っていない）ことがわかりにくいです。徳

造の桜への取り組みは並外れたものであるにもかかわらず、徳造はそ
の桜は自分の力で造り出したものではない、と考えています。このA
とBの食い違いがわかるように説明しましょう。

ポイント④ 文末表現は適切か

↓○問題なし

「〜から。」と理由を述べる表現でまとめているため文末表現は適切
です。

M · E · M · O

7

小説・人物像・心情説明

添削問題 1

「一貫標準」の問題です。

一

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(50点)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

30分

(著作権の都合により、
問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、
問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問一 傍線(a)～(d)のカタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点)

問二 傍線(1)とありますが、草太は自分のどのような状況に対して「複雑な気分」を感じているのですか。四十字以内で具体的に説明しなさい。(8点)

問三 空欄A～Dに最も適切な言葉の中からそれぞれ選び、記号を書きなさい(同一記号の反復使用不可)。(各2点)

- ア 優しい声
- イ 途方にくれたような声
- ウ 毅然きぜんとした声
- エ 悲鳴きめいのような声

問四 傍線(2)とありますが、その理由を次の空欄に当てはまる形で二十字以内で説明しなさい。(8点)

自分から海に行こうと昇平を誘ったのに、

問五 傍線(3)とありますが、草太はどのような気持ちからこのような態度をとったのですか。その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア けがをしたうえに疲労がたまっているのは昇平ではなく自分の方なのに、昇平にはかり気をつかう母への反感。
- イ もう少し休めば走れるようになったかもしれないのに、昇平がよけいな気を回して母を呼んだために恥をかいたという屈辱感。
- ウ 電話をしたのは昇平の家だったはずなのに、母が来たために自分の失態を家族に知られてしまったという悔しさ。
- エ 母が迎えに来たことの安堵感と、母が昇平にあやまつたことで自分の立場がますますなくなってしまうというきまりの悪さ。
- オ 母の顔を見て緊張が緩む思いと、そのためにこらえていた涙があふれそうになり、それを抑えるために必死に我慢する思い。

問六 問題文から昇平はどのような人物であると考えることができますか。最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア 相手が自分よりも弱い立場になったとわかった途端、上からものを言う態度になる威丈高な人物。
- イ 相手が弱っているのを見ると、いけないとわかりながらついイライラしてカッとなってしまう短気な人物。
- ウ 困難な出来事につかつたとき、前向きに対処できる気ばたらきのよさと、少年らしい無邪気さをあわせもつ人物。

エ 普段は強気で自分の意志のままに突っ走るが、一度相手に同情を抱くと世話焼きなまでに親切を惜しまない人物。

オ 計画通りに事が運ばないとつい感情的になるが、言動をすぐ反省し、それをまっすぐ態度に表すことができる人物。

問七 問題文を通じて草太の心情はどのように変化していますか。その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア 初めは自転車だけは昇平に負けないという自負があつたが、体力的に自分の方が昇平に劣っていることを思い知らされてからは、昇平に対して一目置くようになった。
- イ 初めは昇平の野放図さを腹立たしく思っていたが、窮地に陥った自分を助けてくれた優しい一面を見てからは、心を許し友達として素直に受け入れようという気持ちになった。
- ウ 初めは昇平からの同情を受け入れることができず複雑な気分になつていたが、母の顔を見ることで気持ちが安らぎ、昇平にも自然な笑顔を向けることができるようになった。
- エ 初めは走れなくなった自分が悔しく、それを気づかう昇平にも心を閉ざしていたが、昇平の飾らない優しさや屈託のない性質によって気持ちがほぐれ、自然な笑顔を取り戻すことができた。
- オ 初めは昇平に体力的に負けたことが悔しく頼ることができずにいたが、母に助けられたことで自分の至らなさを認めることができ、昇平に勝ちを譲ろうという素直な気持ちになれた。

7

小説・人物像・心情説明

添削問題 1

「一貫発展」の問題です。

一

次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

(50点)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

30分

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

(著作権の都合により、問題文を掲載しておりません)

問一 傍線(a)～(d)のカタカナを漢字に直して書きなさい。(各2点)

問二 傍線(1)とありますが、草太は自分のどのような状況に対して「複雑な気分」を感じているのですか。四十字以内で具体的に説明しなさい。(8点)

問三 空欄A～Dに最も適切な言葉の中からそれぞれ選び、記号を書きなさい(同一記号の反復使用不可)。(各2点)

- ア 優しい声
- イ 途方にくれたような声
- ウ 毅然きぜんとした声
- エ 悲鳴きめいのような声

問四 傍線(2)とありますが、その理由を六十字以内で説明しなさい。(8点)

問五 傍線(3)とありますが、草太はどのような気持ちからこのような態度をとったのですか。その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア けがをしたうえに疲労がたまっているのは昇平ではなく自分の方なのに、昇平にはかり気をつかう母への反感。
- イ もう少し休めば走れるようになったかもしれないのに、昇平がよけいな気を回して母を呼んだために恥をかいたという屈辱感。
- ウ 電話をしたのは昇平の家だったはずなのに、母が来たために自分の失態を家族に知られてしまったという悔しさ。
- エ 母が迎えに来たことの安堵感と、母が昇平にあやまつたことで自分の立場がますますなくなってしまうというきまりの悪さ。
- オ 母の顔を見て緊張が緩む思いと、そのためにこらえていた涙があふれそうになり、それを抑えるために必死に我慢する思い。

問六 問題文から昇平はどのような人物であると考えることができませんか。四十字以内で自分の言葉で説明しなさい。(6点)

問七 問題文を通じて草太の心情はどのように変化していますか。その説明として最も適切なものを次の中から選び、記号を書きなさい。(6点)

- ア 初めは自転車だけは昇平に負けたくないという自負があつたが、体力的に自分の方が昇平に劣っていることを思い知らされてからは、昇平に対して一目置くようになった。
- イ 初めは昇平の野放図さを腹立たしく思っていたが、窮地に陥った自分を助けてくれた優しい一面を見てからは、心を許し友達として素直に受け入れようという気持ちになった。
- ウ 初めは昇平からの同情を受け入れることができず複雑な気分になつていたが、母の顔を見ることができると気持ちが安らぎ、昇平にも自然な笑顔を見ることができるようになった。
- エ 初めは走れなくなった自分が悔しく、それを気づかう昇平にも心を閉ざしていたが、昇平の飾らない優しさや屈託のない性質によつて気持ちがほぐれ、自然な笑顔を取り戻すことができた。
- オ 初めは昇平に体力的に負けたことが悔しく頼ることができず、昇平に勝ちを譲ろうという素直な気持ちになれた。

解 答 用 紙

禁無断転載

Z-KAI

この答案の原則有効期間は

です。

※解答は、漏く、はつきりをご記入ください。

1/2枚目
PLT2A1-S1D1

小説：人物像・心情説明
添削問題 1

獲得点
28 / 50

1 PLT2A1-S1C1

4 / 8
問一

(a)

硬直

(b)

壊

「壊」

(c)

休憩

(d)

謝

「謝」

この部分は「身」の形です。横棒の数を確認してみてください。

4 / 8
問二

昇平が	後ろに	いるの	は安心	だが
昇平の	荷物に	なるの	は安心	だが
状況	お荷物	になる	は安心	だが

草太が疲れていることが理由であることまでをおさえましょう。

(注) 句点をつけましょう。

草太は、単に自分が「お荷物になっている」ことだけではなく、「昇平に見守られる格好」であることを気にしています。

■ □ 要素ごとの出来をチェック

- ① 「疲れている自分が前に行く」などと〈草太の状態〉と〈草太と昇平の位置関係〉をおさえられたか。 ↓△
- ② 「昇平から見守られるようにして走る」などと〈草太の状況〉をおさえられたか。 ↓△

8 / B
問三

A

エ

B

イ

C

ウ

D

ア



場面の説明や昇平の様子を描写した表現を丁寧におさえ、最適なものを選ぶはよいですね。

答案感想欄

▼解答が終わってから記入しましょう。
学年 1②3卒/志望校

解答時間 三十分

大学

時間がかかりすぎた。

難しかった問題

問四

添削者より

最後まで丁寧に取り組んでいますね。時間はかかっても納得のいくまで考えて解答することで、実力アップにつながりますよ。問四は草太の置かれている状況を補って説明できると、よりわかりやすい答案になります。朱筆を参考にしながら、復習してみましよう。

添削者名

増進

6/8
問四

立	ろ	上	が	ろ	う	と				
入	ら	な	い	の	が	悔	し	し	て	
							い	も	全	身
							か	ら		力
										が

これによって「自転車をこげなくなった」ことに草太が悔しさを感じていることをおさえましょう。

-2

■ □ 要素ごとの出来をチェック

① 「自転車がこげなくなってしまうた」などと「草太の状態」をおさえられたか。↓△
② 「悔しい」などと「草太の気持ち」をおさえられたか。↓○

0/6
問五

ウ

直後の段落から、草太が「ほっとした気持ち」と「どんな顔をしていいかわからない」気持ちを感じていることがわかります。この二点をおさえたものを選びましょう。

0/6
問六

エ

昇平の言動を丁寧にチェックしていきましょう。昇平は草太の状態に合わせて、「自分が後ろを走る」(家族に迎えに来てもらうことを提案する) など、臨機応変に対応していますね。

6/6
問七

エ



草太は、自分の力のなさが悔しくて母や昇平にかたくなな態度をとっていました。昇平の屈託のない態度に接するうち自然に笑えるようになったのですね。